

ニューヨーク市立大学クィーンズ校のフォアマン文庫収録文書を電子化

FBI 文書に見るフロリダとキューバのマフィアたち

The Mafia in Florida and Cuba

FBI Surveillance of Meyer Lansky and Santo Trafficante, Jr.

本コレクションは、フロリダとキューバを拠点にして暗躍した3人のマフィア、サント・トラフィカンテ・ジュニア、マイヤー・ランスキー、ラッキー・ルチアーノに関する連邦捜査局(FBI)の捜査資料を電子化して提供するものです。収録資料は、FBI 捜査官や情報提供者や司法省の報告書、書簡、覚書、分析、新聞記事の切抜き、盗聴記録のトランスクリプト等、広範囲に及びます。政界への賄賂、マフィアの抗争、麻薬密売、売春、ギャンブル等、暗黒の世界を牛耳ったマフィアの物語で織りなされたフロリダやカストロ登場以前のキューバの歴史が浮き彫りにされます。

◆サント・トラフィカンテ・ジュニア◆

『ゴッドファーザー』ばりの伝説に纏われたマフィアのボス、サント・トラフィカンテ・ジュニア。フロリダのタンパ生まれのトラフィカンテは 1954 年、父が亡くなると、マフィアのボスの地位を継承し、一大犯罪王国を築き上げ、全米のマフィアの羨望の的となります。6 年に亘り、「ドニー・ブラスコ」の変名を使って組織の中に潜入したおとり捜査は FBI 捜査官ジョゼフ・ピストーネ (Joseph Pistone) により『ドニー・ブラスコ』として出版され、映画化されました。

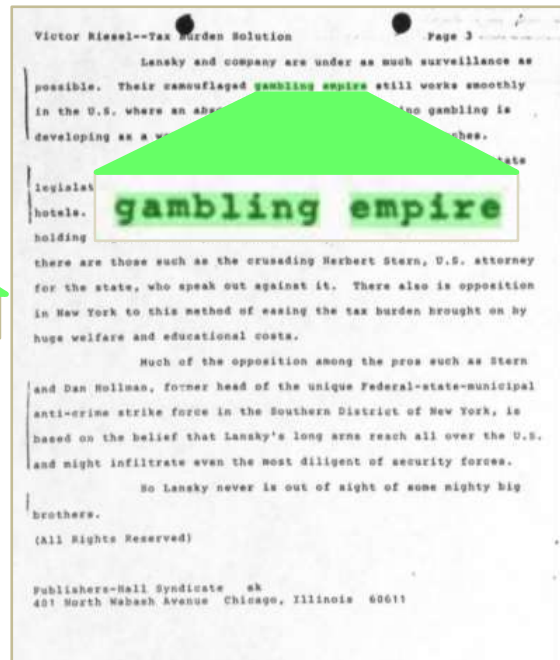
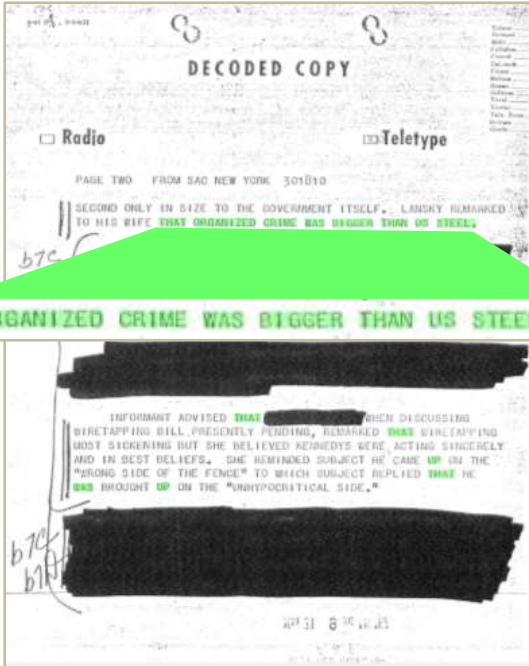
◆マイヤー・ランスキー◆

フロリダのマイアミとキューバのハバナを拠点に活動したマフィアで、マフィアの財政指南役。盟友ラッキー・ルチアーノと犯罪シンジケートを築き、ギャンブル、密売、高利貸、相場操縦等の不正により莫大な個人資産を得ました。脱税、暴行、法廷侮辱等で度々起訴されたが、収監されたのは生涯でわずか2ヵ月間に過ぎませんでした。連邦捜査局(FBI)はマイヤー・ランスキーを厳重な監視対象に置き、盗聴によってその行動を把握していました盗聴で入手したランスキーの言葉で有名になったのが「アメリカの組織犯罪は US スチールよりも大きい」という言葉です。

◆チャールズ・ラッキー・ルチアーノ◆

1930 年代のニューヨークの大物マフィア。トマス・デューイ検事の容赦ない追及により、1936 年に禁固 30-50 年の刑を宣告されます。1946 年に仮釈放され、イタリアへの強制退去処分を受けます。1947 年にはキューバのハバナで開かれたマフィアの会議(「ハバナ会議」)に出席しますが、これをメディアに報じられると、キューバからの退去処分を受けました。本コレクションには、仮釈放、イタリアへの強制退去処分、ハバナ会議に関する文書が収録されています。





◆データベースの概要

- ◆ 原資料所蔵機関: James Forman Library, Department of Special Collections and Archives, Queens College, City University of New York
- ◆ 期間: 1946年-1977年
- ◆ 総ページ数: 11,290ページ